

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の音声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→H-15)

注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

ハンズフリー通話をするには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは「Bluetooth設定をする」(→H-7)をご覧ください。

メモ

- Bluetooth対応の携帯電話をお使いになると、必ず「Bluetooth機器使用上のご注意」(→H-8)をよくお読みください。
- 本機は、インターネット電話、割込通話および第三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や第三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れことがあります。
- ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合は、1台が使用中(発信中、着信中、通話中)で、もう1台が使用(発信、着信、通話)しようとすると、その動作を自動的に切断します。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入ら

ないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

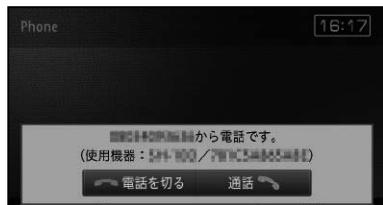
- 受話音量を小さくする(→「ナビゲーションの音量を設定する」(→H-15))
- お互いに一呼吸おいて話す
ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→X-5)
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売会社へお問い合わせください。

電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



「**通話**」にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

 メモ

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル(→X-2)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同一の場合は、登録地の名称が表示されます)。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話を切る**にタッチすると、かかってきた電話を切ることができます。

ワイプで操作する場合：

電話着信中は、以下のワイプ操作が行えます。ワイプの操作方法については、「**ワイプ操作**」(→B-8)をご覧ください。



→ワイプ	通話することができます。
←ワイプ	電話を切れます。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1 メニューを押し、電話にタッチする
2 電話をかける方法にタッチする


ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→X-3)
メモリダイヤル	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。(→X-3)
発着信履歴	本機と携帯電話を接続時に発信、着信(不在着信含む)した履歴を表示し、電話をかけることができます。(→X-3)
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。(→X-4)
販売会社	メンテナンス情報に登録した販売会社(→X-4)に電話をかけることができます。
自宅	自宅の電話番号に電話をかけることができます。(→X-4)

メモ

- ・携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル**は選択できません。
- ・Bluetooth Audio再生中に電話をかけるまたはメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、**はい**にタッチしてください。
- ・発信中、通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー（→X-5）が表示されます。
- ・販売会社の電話番号を登録していない場合は、**販売会社**は選択できません。
- ・自宅の電話番号を登録していない場合は、**自宅**は選択できません。

[電話番号を入力して電話をかける]

1 ダイヤル発信にタッチする
(→X-2)

2 電話番号を入力し、発信にタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

- ・携帯電話でダイヤルすることもできます。（携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。）

[メモリダイヤルを呼び出して電話をかける]

メモ

- ・メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える（→X-10）と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 メモリダイヤルにタッチする
(→X-2)

2 相手先を選んでタッチする



3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



4 はいにタッチする

相手先に電話が発信されます。

[発着信履歴から電話をかける]

1 発着信履歴にタッチする
(→X-2)

2 表示したい履歴を選んでタッチする



選んだ履歴がリスト表示されます。

3 相手先を選んでタッチする

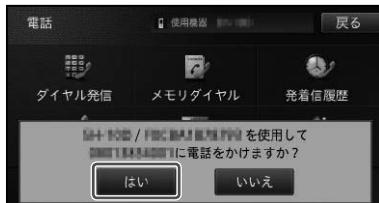
相手先に電話が発信されます。

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤルにタッチする (→X-2)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

- オプション設定(→H-30)で「リダイヤル」を割り当てている場合は、*****(オプションボタン)を押して操作することもできます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→D-1)施設の詳細情報(→D-7)を表示させる

2 発信にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。

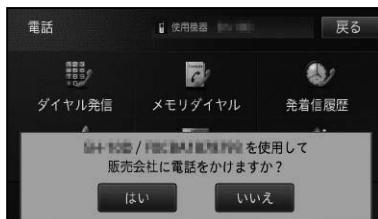
登録した販売会社に電話をかける

メンテナンス情報に登録した販売会社に電話をかけることができます。

1 販売会社にタッチする (→X-2)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



登録した販売会社に電話が発信されます。

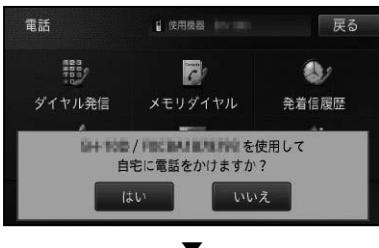
自宅に電話をかける

自宅の情報に登録した電話番号に電話をかけることができます。

1 自宅にタッチする(→X-2)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



自宅に電話が発信されます。

カーウイングスオペレータに電話をかける

カーウイングスオペレータに電話をかけることができます。

1 メニューを押し、CARWINGSにタッチする



2 オペレータ接続にタッチする



カーウイングス情報センターに接続し、オペレータと通話ができます。

メモ

- カーウイングスの機能や操作については「カーウイングスについて」(→J-1) を参照してください。
- カーウイングスオペレータへの電話は発信履歴には記録されません。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



電話を切る 電話を切ります。

閉じる 通話中メニューを閉じます。

ハンズフリー タッチするごとにハンズフリー機能をON/OFFします。ONのときはランプが点灯します。OFFのときはランプが消灯します。

ミュート タッチするごとに送話のミュート機能をON/OFFします。ONのときはランプが点灯します。OFFのときはランプが消灯します。

トーン入力 ダイヤルトーン画面が表示されます。数字、*、#を入力できます。

送話音量 送話音量画面が表示されます。1~9の範囲で送話音量を設定できます。工場出荷時の値は「3」です。■にタッチすると送話音量を下げます。+にタッチすると送話音量を上げます。

受話音量	受話音量を0～31の範囲で設定できます。工場出荷時の値は「17」です。■にタッチすると受話音量を下げます。+にタッチすると受話音量を上げます。
-------------	---

メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 閉じるにタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の■にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

携帯電話情報を編集する

メモリダイヤルの読み込みや消去、各履歴の消去を行うことができます。

1 メニューを押し、電話にタッチする**2 編集・消去にタッチする**

▼
編集・消去メニューが表示されます。



メモリダイヤル	メモリダイヤルの読み込みや消去を行います。(→X-6)
----------------	-----------------------------

発信履歴消去	発信履歴を消去します。(→X-8)
---------------	-------------------

着信履歴消去	着信履歴を消去します。(→X-8)
---------------	-------------------

不在着信履歴消去	不在着信履歴を消去します。(→X-8)
メモリダイヤル転送設定	メモリダイヤルと発着信履歴を自動的に本機に転送できます。(→X-9)

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大1,000件のデータを本機に読み込むことができます。

メモ

- Bluetooth Audio再生中に携帯電話からメモリダイヤルを読み込む場合は、Bluetooth Audioの再生中止確認画面が表示されますので、[はい]にタッチしてください。
- メモリダイヤル自動転送設定がONの場合は、メモリダイヤルを読み込むことはできません。(→X-9)
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り替える(→X-10)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「メモリダイヤルを消去する」(→X-7)を参照してください。
- 電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

**1 メモリダイヤルにタッチする
(→X-6)**

2 読み込みにタッチする



- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリダイヤルを消去する

不要になったメモリダイヤルを消去することができます。

メモ

- すでに読み込んだデータがある場合は、**上書き読み込み**または**追加読み込み**を選んでください。

3 携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する

メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができるようになります。

メモ

- メモリダイヤルと発着信履歴を自動的に本機に転送することもできます。（→X-9）
- メモリダイヤル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作（携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります）が必要です。
- PBAP接続（→H-8）に対応した携帯電話の場合、**読み込み**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリダイヤルが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。またPBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ一件数は、携帯電話によって異なります。

メモ

- 本機に記録されているメモリダイヤルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリダイヤルおよび履歴情報は消去されません。
- 消去可能なメモリダイヤルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える（→X-10）と、消去可能なメモリダイヤルの内容も切り替わります。
- メモリダイヤルの消去中は、メモリダイヤル機能（→X-6）が使用できません。
- メモリダイヤル自動転送設定がONの場合は、メモリダイヤルを消去することはできません。（→X-9）

1 メモリダイヤルにタッチする （→X-6）

2 消去にタッチする



3 消去したい電話番号にタッチする



選んだ電話番号には、 (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ・**全選択**にタッチするとすべての電話番号が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている電話番号すべてを解除します。

4 消去にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

選んだ電話番号が消去されます。

メモ

- ・メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- ・メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをOFF)にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

履歴情報を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

メモ

- ・接続する携帯電話を切り換えると、その携帯電話を使用したときの発着信履歴を消去することができます。
- ・携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も、自動的に削除されます。

- ・メモリダイヤル自動転送設定がONの場合は、履歴情報を消去することはできません。(→X-9)

1 消去したい履歴項目を選んでタッチする(→X-6)



2 消去したい履歴情報にタッチする



選んだ履歴情報には、 (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- ・**全選択**にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

3 消去にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

選んだ履歴情報が消去されます。

メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送を設定する

携帯電話に登録されているメモリダイヤルと発着信履歴を自動的に本機に転送することができます。

モ

- ・自動転送をONに設定した場合、手動でのメモリダイヤルの読み込みや消去、履歴情報の消去はできません。（→X-7）
 - ・PBAP接続に対応していない携帯電話をお使いの場合は、自動転送はできません。

メモリダイヤルと発着信履歴を自動転送する

1 メニューを押し、電話にタッチする

2 編集・消去にタッチする



3 メモリダイヤル転送設定に タッチする



4 メモリダイヤル自動転送設定にタッチする



メモリダイヤル自動転送設定画面が表示されます。



ON メモリダイヤルと発着信履歴を自動で転送します。

OFF	メモリダイヤルと発着信履歴を自動で転送しません。工場出荷時の値はOFFです。
------------	--

メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送完了表示を設定する

1 メニューを押し、電話にタッチする

2 編集・消去 にタッチする

3 メモリダイヤル転送設定に タッチする



4 メモリダイヤル自動転送完了表示にタッチする



メモリダイヤル自動転送完了表示設定画面が表示されます。



ON	メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送が完了したときにメッセージを表示します。工場出荷時の値はONです。
OFF	メモリダイヤルと発着信履歴の自動転送が完了したときのメッセージを表示しません。

他の携帯電話に切り換える

ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合、ハンズフリー通話に使用する携帯電話を切り換えることができます。



- ・ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合、使用機器に設定されていない携帯電話では発信はできませんが、着信を受けたり通話したりすることができます。

- 1 メニューを押し、電話にタッチする**

- ## 2 使用機器切換にタッチする



他の携帯電話に切り換わり、「使用機器」の表示が切り換わった携帯電話の名称になります。



• 使用機

- 切り換えることができます。
 - 切り換えられる携帯電話は、Bluetoothの設定(→H-7)で「ハンズフリー1」「ハンズフリー2」に登録した携帯電話です。
 - Bluetooth設定**にタッチするとBluetooth設定画面(→H-8)が表示されます。
 - ハンズフリー機器として登録した携帯電話を2台接続している場合、使用機器に設定されていない携帯電話でも発信以外(着信および通話)は可能です。